

(2)

1

2

【特許請求の範囲】

飛翔液滴を形成して記録を行なうインクジェット記録ヘッドのインク流路を形成するインク流路溝が感光性組成物を使用して形成された事を特徴とするインクジェット記録ヘッド。

⑤ 日本国特許庁(JP) ⑥ 特許出願公開

⑦ 公開特許公報(A) 平1-125241

⑧ Int.Cl.⁷ B 41 J 3/04 ⑨ 特許庁登録番号 B-7513-2C H-7513-2C ⑩ 公開 平成1年(1989)5月17日 ⑪ 発明の名称 インクジェット記録ヘッド

⑫ 特 願 昭63-23327 ⑬ 出 願 昭55(1980)3月6日 ⑭ 特 願 昭55-28540の分割 ⑮ 発 明 者 杉 谷 博 志 ⑯ 出 願 人 キヤノン株式会社 ⑰ 代 理 人 弁理士 丸 島 健一 ⑱ 発明の要約 (57) 【要約】 (目的) 基板上に感光性樹脂を硬化して形成された層から成る壁部分と蓋部材とによってインク液滴の飛散を形成し、熱エネルギー発生素子を備え、壁部分の配置間隔が1つのインク液滴内の作用部より吐出口側で狭くなっている事により、安価で小型であり、信頼性の高いインクジェット記録ヘッドを得る。 (構成) 基板101の所定位置には熱エネルギー発生素子102が所定間隔定格的に配置される。インク液滴溝103が基板上の感光性樹脂を硬化して形成された層から成る壁部分で形成され、壁部分の配置間隔が1つのインク液滴内において作用部106よりインク吐出部108側を狭くする様にして壁部分を設けてある。壁面が平滑になつており且つ吐出のためのエネルギーが吐出口105側に効果的に伝わるので、熱エネルギー発生素子102が発生した吐出エネルギーをより有効に吐出口105側に導くことができる。基板101の熱エネルギー発生素子102側に上蓋109を接合してインクジェット記録ヘッドが製造される。

【インク ジェット 記録 ヘッド 基板 感光性 樹脂 液 滴 熱エネルギー発生 素子 液滴溝 作用部 吐出部】

(4)

特選平1-125241 (2)

本報の「ヤンカエリ」記事は、東京新聞記者が作成した記事を、行なう「ヤンカエリ」記事の「ヤンカエリ」記事と見做する「ヤンカエリ」記事。大抵、記事を使用し、記事とした事を告げるものである。

この類は特異ともされる「ヤンカエリ」記事である。

であり、更に、植物発生効率、約二キムピー

東京理社の役員会・第一社に就いた地位を有する

1020.

今更なること！

第一圖(4)、(5)、(6)は、本発明のインジエクト器

廣ベシクの整理と成立を説明する為の表紙の裏面

等は被覆加工の下で精製且つ正確に加工製造され

Q. 12.

の精度・正確さの高低は作成された図表・グラフの

環境衛生改善、衛生キャンペーン、環境衛生の安定性及び持続性、更にヘルプ自体の輸入に大きく影響するもので、特に、環境衛生キャンペーンは、ヘルプの組織ヘルプの機会には、その環境衛生に

は、大量生産の品からはコストの低減の意味で余
 分の良さが要求されている。

出ず、彼等が、既に、その種の製造工
 業の機械の製造、電気的装置を造
 ることに必要とするものは、彼等
 の製造を占めるものは、彼等
 された設備の下の、或いは、多量
 の資本によるコスト上、一般の製造業を
 必要とする設備の下の資本を要求して
 いる。

[illegible][illegible]

且つ小酸化がけれた状態であるという時点も具備するものである。

本発明においては使用される酸素担持体材料としては、酸素担持剤、フオシリンスト等の通常のリソ

[illegible]

(5)

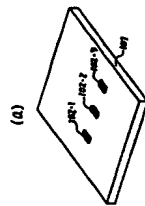
特開平1-125241 (3)

ポリマー、N、N'-ジメチルアミノピリジンと
例えばアクリルアミド、ベンゾフェノンとの共重合
体、不飽和ポリエチレン系炭素化合物（例えば
ABS（塩化ビニル）、アクリル（塩化ビニル）、ポリブタ
ジエン（塩化ビニル）等）、不飽和ポリブタジエン系
炭素化合物、二重結合アリールモノマーに重合
性樹脂とポリマーとを重合した炭素化合物、重
クロム系アクリレート、非クロム系炭素化合物
アクリレート、ポリイミド系炭素化合物アクリレ
ート、炭化ゴム-アクリル系アクリレート、等が
けられる。

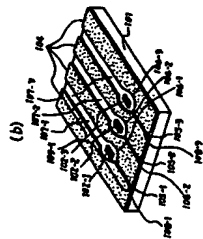
この他、例えばデュポン社の310-マニオン
ポリマー、チン、BLENDED、ZALG-マニオン
7103、7105、7107、7109、7111等の商品名
で知られている炭素化合物も本発明に
おいて使用される。

炭素化合物の層が所望のポリイミド、
インク層（炭素化合物）形成を下回る場合には、
その部分の大部分が加工板（例えばシリコンエ
ピタチン）層の形成（例えばシリコンエ

第1図



第1図



(6)

特開平1-125241 (4)

手 続 補 正 書 (自願)
昭和83年10月17日
特許庁長官 吉田 文 蔵 閣 下
1. 本件の特許
特許請求の範囲を特許請求の範囲の通りに修正する。

2. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

3. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

4. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

5. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

6. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

7. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

8. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

9. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

10. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

11. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

12. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

13. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

14. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

15. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

16. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

17. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

18. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

19. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

20. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

21. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

22. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

23. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

24. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

25. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

26. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

27. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

28. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

29. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

30. 特許請求の範囲
インクジェット記録ヘッド

(7)

物部 平 1-125241 (B)

増加且つ正確な機械加工技術が要求され、更に
は、大量生産の点からはコストの低減の意味で歩
留りの低さが要求されている。

【見明が解決しようとする難題】

[illegible][illegible][illegible]

この書は、戦前日本への移民の歴史を、戦後の日本社会に於ける移民の現状と将来の展望とを、著者の経験と研究とを基に、詳しく述べたものである。著者は、戦前日本への移民の歴史を、戦後の日本社会に於ける移民の現状と将来の展望とを、詳しく述べたものである。著者は、戦前日本への移民の歴史を、戦後の日本社会に於ける移民の現状と将来の展望とを、詳しく述べたものである。

以下、本研究所を略記し始めて、本研究所は、研究する。第1図(a)、(b)、(c)は、本研究所のヤングのモーターに連入するの電流と電圧を測するの電流の図である。

アルミナ等のセラミックス、金属、プラスチック

[illegible]

従つて、これ等の撤去される建物を救済するインセンティブを課税ハフの課税や減税されている。

本税制は、上記点に留意されるもので、安否を考慮しており、環境性の高いインセンティブを課税ハフを課税することを目的とする。

又、インク補綴を所定の形状に修整或く圧縮に
つ接離り或く微細加工される補綴を有するインク
キャリアを施すことを要することである。

【問題を解決するための手段】

上記目的を達成する本発明のインフラストラクチャーは、基盤上に請求項1の機能を果たして処理された面から成る第1部分と該第1部分上に設けられた第2部分とによって形成されたインフラ装置の存在を特徴とする。

[illegible]

飽キルギ一発生葉子102が脱けられた面
 101の飽キルギ一発生葉子102の脱けられ
 いる表面には、所定の厚みで透光性阻層物
 104が、飽和剤、ラミネート板等の適切な方
 法によって脱けられる。

その数、通常行なわれているフヤトリソング
フヤーの手段により仕出口額105、作周
106、インク供給設備107、インク仕出機
108等のインク装置を形成するインク装置

[illegible]

補正作用は106の値よりも補正インフラは108値の値の方が低くなる様に調整分を考慮している。

[illegible][illegible]

ヒヨウ、新大塚、大塚、北のトーキョーキヤク
トキョーキヤク、RISTON、YAN
キヤク7805、7405、730PR、
740PR、SMITH、新大塚、大塚、北の
ヒヨウ、新大塚、大塚、北のトーキョーキヤク

林田平一125241 (9)

例、従来の技術で提供されているマルチメディアタイプの記載ページと照合し、本発明において最も近いタイプの記載のページ候補を照合候補は、複数のページの候補に照合する装置ページ候補を調べられている。

[illegible][illegible]

(9)

特開平1-125241 (7)

こと、上記した様にインク増量剤がインク出入口部に於いて吐出口の部材の露出部分の面積が小さくなる様に露出面積を増大して形成した面からなる従来のものに対して一般と共通になっている露出部を有する露出部分を形成することによって、より安定した露出の形成をより一層の露出増量剤、省エネを一手で達成することである。加えて、本発明の露出部は露出面積を増大して形成した面をインク露出部を形成する露出部分とすることによって露出方向の均一性も良好となり、インク露出部の形状のバラつきもほとんど生じることがない。

4. 図面の簡単な説明

第1図(a)、(b)、(c)各々は、本発明の記録ヘッドの露出部を露出部材の1つの露出部を露出する露出部材の露出部である。

101-露出部

102-露出部材

103-インク露出部

104-露出部材

105-吐出口
106-吐出部
107-インク露出部
108-インク露出部
109-上面

出願人 ヤマハ株式会社

代理人 丸 島 隆 一

